

GLORY

○2015年11月2日(月) 第11号

○発行：生徒会『GLORY』編集委員

高校生フェスティバル学内実行委員

新・生徒会役員が決定!!

先週木曜日の午後、高校生は体育館で、中学生はB会議室をつかって「平成28年度 生徒会役員演説会・選挙」が行われました。聞く人たちが真面目に、真摯にのぞんだこともあって、立候補者も応援演説者も、とても立派に話すことができました。その後の投票・開票も、円滑かつ誠実に行われました。ご協力に感謝します。

全校生徒の前で話すということは、とても緊張するものです。演説の声が緊張で震えていたのを感じ取れた人もいたことでしょう。しかし、それを乗り越えようと、一生懸命にしゃべり、自分の考えを周りに必死に伝えたことは立派なものです。その頑張りや、これからの生徒会活動にきっと反映されていくはず。新生徒会役員がひっぱり、これからの生徒会活動は、一体どんなものになっていくのでしょうか。主体者は生徒のみなさん一人一人です。全員の力で、よりよい高蔵をつくっていきましょう。

平成28年度生徒会役員

《高校》

会長	: 2年桐組	真下 愛裕	(商): 1年桜組	木村 海			
副会長(普)	: 2年榎組	住野 聖馬	書記	: 2年梓組	福嶋 春香	1年梅組	中井 友子
書記	: 2年梓組	福嶋 春香	1年梅組	永井 伶奈	1年柳組	竹内 榛香	
会計	: 2年梓組	近藤 隼太	1年縦組	高橋 愛美			

《中学》

会長	: 2年葵組	大橋 知美	1年葵組	梶村 巧海
副会長	: 2年葵組	都築 美日	1年葵組	加藤 忍
書記	: 2年葵組	加藤 美月		
会計	: 2年葵組	大西 桃華		



11月3日(火・祝日)、 名城公園でBigフェスがあります。

愛知県下の私立学校が参加するこの企画に、部活動やクラスで参加する団体がありますのでご紹介します。

- 書道部 … 模擬店「たこ焼き」(@藤棚周辺)
- 2年桐組 … 模擬店「焼きそば」(同上)
- ダンス部 … ダンスフェスティバル参加 (出演時間は当日の朝発表)
- バトン部 … パレード参加 (14:00よりスタートです)

部活動やクラス以外にも、手伝いをしている人や主体的に関わっている人がたくさんいます。そんな仲間の頑張りや、一目見てみましょう。そして、当日一緒に群舞を踊る人も募集中です。興味のある人は主体的に加わってみてはいかがでしょうか? 当日参加のための練習場所・時間もあります。詳しくは花田先生・高須先生にお尋ねください。

また、当日には多くの先生方も参加しますので、時間のある人は是非足を運んでみてください。なお、チケット(運営協力券)は担任の先生から購入してください。



高蔵で2学期に実施するボランティア活動

①. 祝日あけの今週水曜日（4日）は 「赤い羽根共同募金へのご協力」 をお願いします。

明後日11月4日は「赤い羽根共同募金」の日です。あらかじめ「この金額！」と決めたものを用意しておいてください。

以前、こんな話をする人がいました。「募金とは、する者に痛みをとまなうものだ」と。「しても痛くないくらいの額」なら、何も記憶に残らない。しかし、痛みをとまなう募金は記憶に残るし、相手のことを思いやらなければならないことだ、と。

よく、「募金は気持ち」というけれど、ということは、あまりに少額だと「気持ちが少ない」ということになってしまいます。もちろん、募金の金額は人それぞれでかまいませんが、「困っている・苦しんでいる人のために」と思って行う募金ということは、その苦しみ・困難を少しでも自分が引き受けようとしているわけで……。心ある募金をお願いします。

共同募金の使い道とは？

赤い羽根共同募金は、都道府県を単位として、毎年10月1日から全国一斉に実施されます。集まった寄付金は、民間の社会福祉活動を支える資金として、愛知県内の社会福祉協議会をはじめ、福祉施設・団体の活動に幅広く役立てられます。たとえば、一人暮らしの高齢者を見守る活動や福祉活動の担い手となるボランティアの育成、子どもたちへの福祉教育、障がい者が働く事業所への支援など、皆さんが住んでいる地域の福祉活動をはじめ、広域的な課題を解決するため県域の活動にも役立てられます。

②. 今年もやります、献血運動。 12月17日（懇談会初日）です。

昨年に引き続き、今年も献血運動を実施します。日程は12月17日の第2学期PTAクラス懇談会の初日の午後です。男子は17歳から、女子は18歳から可能となりますので、「人の役に立ちたい」「何か困っている人にできることは」と思っている条件を満たす人は、積極的に参加してください。お願いします。なお、年齢以外にも条件がありますので、詳しくは後日配布するプリントをしっかりと読んでください。

献血についての予備知識（日本赤十字社のホームページ参照）

《献血者減少時期のご協力》

血液センターでは、医療機関で必要な血液量をあらかじめ予測し、これに沿って献血のご協力をお願いしています。しかし、年間を通して血液の必要とされる量はほぼ一定であるのに対し、献血者数には変動があります。

全国的に見ると、特に冬場から春先にかけては、風邪をひくなど体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなっていることから、献血者が減少してしまいます。ゴールデンウィークやお盆、年末年始などにも一時的に減少しがちです。

献血者の減少は、長期保存のできない輸血用血液製剤の不足を引き起こします。このような場合、全国7カ所のブロック血液センター間の相互協力により、医療機関へ血液が確実に届くようにしておりますが、常に迅速かつ安定的な供給を図るために献血者の減少時期における皆さまのご協力をお願いいたします。

つまり、高蔵の皆さんが12月に行う献血は、待ち望んでいる人が多いということなのです。少ない時期だからこそ、世のため人のため、考えてみましょう。

《献血の割合》

献血全体の24%が50歳以上の人、57%が30～49歳、19%が16～29歳です。「健康的な若い世代が、もっと医療の多くを支えてもよいのでは？」と思う数字かもしれません。たしかに、若いうちには、なかなか「献血をする場」に出会う機会が少ないのかもしれませんが。だからこそ、この高蔵校内で行われる献血を機に、関心を高めてみましょう。そして、街で見かけたら勇気を出してチャレンジしてみたいかがでしよう？

《血液の基礎知識（血液の量・献血の量）》

人間の血液の量は、体重の約13分の1とされています。血液の量の12%を献血していただいても医学的には問題がなく、皆さまにお願いしております献血の量は安全なものですので、ご安心ください。

また、献血後の血液の「量」は、水分を摂取することにより短時間で回復します。血液の「成分」が回復する速さは、その成分によって異なります。

回復する速さには個人差がありますが、目安として、血漿成分は約2日、血小板成分が約4～5日、赤血球は約2～3週間で回復します。

